



月刊
住宅情報誌
躍進
http://www.yakushin.jp



躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

- 主な内容
- ②面 住宅購入者の6割超が「地震」を意識
 - ③面 家の内外をリフレッシュ!
 - ④面 平成とともに歩んだ「地域のホームドクター」

発行所
埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
☎048-688-3388
☎048-680-7615
株式会社 躍進
編集・発行人 笠井輝夫
頒価：216円(送料込み)

羅針盤
特別寄稿



人生大善生活改革
働き方の
あるべき姿を問う

今月より、働き方改革関連法に基づき、時間外労働の上限規制の導入、一定日数の年次有給休暇の確実な取得、勤務間インターバル制度の普及促進等が施行されます。

そこで、今回の羅針盤は、特別寄稿とさせていただきます。働き方のあるべき姿を見直したいと思えます。

働かない改革に
なってはダメ

その一方で、現在、わが国は高齢化と少子化の

ダブルパンチにより、日本の生産年齢人口(一五歳から六四歳)は減少の一途をたどっています。この状態を放置すれば、

税収は減り続け、近い将来、日本の財政は必ず破綻します。そこで政府は「一億総活躍社会」のキャッチフレーズのもと、女性の職場進出、高齢者の活用、個人のニーズに合わせた働き方などを提案、実行しました。いわゆる「働き方改革」です。

しかし、その一方で、働き方改革の目的と手段を、履き違えている人も現れるようになりました。働き方改革ではなく、言わねば「働かない改革」になってしまうのです。

労働時間の短縮は、目的ではなく手段であるといふことを認識すべきでしょう。それは、各企業が、自分の会社の実態に応じて、理想の環境を整備確保し、揺るがない労働基盤を構築することが

先決だと思ふのです。

それぞれの企業に
相応しいシステムを
構築すれば良い

翻つて、躍進の社歴は一九年に迫りますが、その間一〇名の社員の出入りがありました。現在、正社員は八名、契約社員一〇名、計一八名です。省みると、新入社員が育ちこれからのいう時に退職するケースが幾度かありました。このように、欠員が出ればそれを補充するまで、他の社員で対応せざるを得ない現実があるのです。

この時、一番重要な働き方改革ではなく、言わねば「働かない改革」になってしまうのです。

その中で、まさにピンチはチャンスとし「業務見直しができるチャンス」と捉えてきました。そして、常に原点に立ち返り、不易流行の如く、無くしてはならぬものと新たに創造するものを見極め、最終的にイノベー

ションを実現することが必要なのです。当然、時間外労働も必要なです。通常の状態を確保するまで、業務をやり遂げなければ、会社は機能不全に陥ります。それでは、お客さまに大きな迷惑がかかってしまい、会社の信用は失墜することになります。それだけは断じて避けなければなりません。

このように、組織においては少なからず避けられない実情というものがあつたのではないのでしょうか。「ヒト、モノ、カネ、知恵、情報、時間」の損失を防ぐのも、やはりヒトなのです。そのヒトのトップは言うまでもなく経営者で、すべては経営者の責任となるのです。だからこそ、日頃から実践にて、共に育む社員共育は欠かすことができないのです。組織において、人事というものがいかに大切であるか痛感すると同時に、欠員が生じ、新たに人を雇用する際の面接は、経営者として最も重要な業務の一つです。お客さまに信用を得るため、もちろん、決してリッ

プサービスなどできませ

ん。あくまでも、実態をありのままに説明して、現状と未来のビジョンが指し示すところと、雇用条件や体系を理解してもらい、一緒に働けるか否か判断してもらおうようにしています。それは、既存の全社員も同様です。特に再確認する原点は、何のために働くのか、自分の存在価値、意義はなにかということ。今一度、自分の志、使命責務を肝に銘じ、意気揚々と活動している姿が、良い社内環境を創り、周囲に士気向上が伝播するのです。まさに、周囲のお手本となる社員を育成することは最優先となる課題の一つです。肝心なのは、机上の教育ではなく、すべて実践の中で、共に育む共育を最優先に進めることです。

このような背景を省みると、あらゆる企業において働き方改革は、各々の企業や組織に応じて真剣に取り組んでいかねばなりません。しかし、その本質は、お客さまに信用を得るため、もちろん、決してリッ

プサービスなどできませ

口から出口までの仕組みづくりにあるのです。もちろん、企業ごとに成すべきことは千差万別多種多様であると思えます。それには、その企業に相応しいシステムを構築すれば良いのです。それは、全社員の生活を守る基盤づくりに通じるのです。

確かに「働きすぎは悪」かもしれませぬ。「仕事はコンプライアンス優先」であるのは、当たり前でしょう。この言葉を踏まえたうえで、決して働かない日本にだけはしてはならないと思ふのです。日本全体がそんな方向に進んでは、誰も頑張らないし踏ん張らない。そんな国には断じてしたくありません。

私の父は、クリーニング業を自営し生計を立て、兄弟二人を育ててくれました。年齢とともに、仕事に身体にも辛く、長年の疲労が蓄積して腕が上

がらない腱鞘炎になってしまいました。それでも、古くからのお客さまがい

（二面に続く）

（二面に続く）

(一面より続く)
るので、やり続けるとい
って、昨年八三歳まで、
洗い場、仕上げ、アイロ
ンと一人三役をこなして
きたのです。

私は、父が仕事を休ん
だ姿を見たことがありま
せん。私たち兄弟を育て
てくれ、弟を大学まで出
してくれました。

まさに、母と二人三脚
で個人商店を切り盛りし
て働いてきたのです。尊
敬できる両親であり、父
の姿です。

技能者のなかには、こ
のような人は数多くいる
と思います。特に、伝統
工芸の技能者などは、そ
うした姿が顕著な方ばか
りかもしれません。

こういう姿勢こそ、日
本の精神文化であり仕事
に対する文化だと思ってい
ます。まさに、戦後の日
本の国を支えてきた功勞
者です。この精神を、私
は受け継いでいくと心に
刻んでいます。

もちろん、本人の意に
そぐわない長時間労働を
会社が強いることは大き
な問題です。

しかし、寝食を忘れて
仕事に没頭してきた人た
ちがいたことも、また現

在もいることも事実なの
です。政府が提唱する様
々な規制は、人間の労働
意欲の制限に繋がるもの
であってはならないと思
います。やる気を確実に
削ぐようなことになって
はならないのです。

一生懸命に働く精 神文化を今一度蘇 らせた

そして、私が宣言した
のは、働き方改革から
「人生大善生活改革」へ
の移行です。

自分の人生をどのよう
に生きるのか、何のため
に働くのか、この仕事で
どのような社会貢献をす
るのか、また自分の希望
は何か、志を果たすには
どうすれば良いのか等、
自らの使命と責務を確固
として生きていきたいも
のです。このようなこと
が、自「変革、精神改革革
命であり、「人生大善生活
改革」へと繋がっていく
と思うのです。

働いてお金を稼ぐこと
の本質は、極めて奥深く
幅広いものです。政治家
や官僚の机上の論理で、
汗水たらして働く労働者
たちの人生を決めようと
している働き方改革は、

まさに本末転倒としか言
いようがありません。

働かないで、経済的な
豊かさだけを稼ぐことは
できません。過度な経済
的豊かさはいらない、自
分の時間がほしいという
のなら、それで良いでし
よう。しかし、働くのは
嫌だけど、経済的に豊か
な生活がほしいというの
であれば、ちよつと虫が
よすぎると思います。

本質的に、仕事を楽し
いものにするのが、真
正的には、前号で述べた、

の働き方改革なのです。
「働かざる者食うべから
ず」という言葉がありま
すが、働かない日本の未
路は本当に哀れなものに
なると思います。

日本人に受け継がれて
きた、一生懸命に働く精
神文化を今一度蘇らせて
いくと決め、躍進は異体
同心の団結で、各自がフ
クワク楽し働、自己
変革に挑んでいる途上で
あります。そして、最終
的には、前号で述べた、

SDGs(※)を組み入れ
た働き方改革を目指して
いく方針です。ご期待く
ださい。

※世界が二〇一六年から二
〇三〇年までに達成すべ
き一七の環境や開発に関
する国際目標「持続可能
な開発目標(Sustainable
Development Goals)」
のことです。そして、こ
の一七の目標を、より具
体化したものが一六九の
ターゲットです。

住宅購入者の6割超が「地震」を意識

ジェイアイ傷害火災保険調べ

インターネット専用の火災保険「iehoいえほ」を販売するジェイアイ傷
害火災保険(東京都中央区)は3月13日、住宅購入経験者を対象とした
『住宅購入と火災保険』に関するアンケート調査(実施期間は2019年1月
8日から10日、有効回答数は1026件)の結果を発表しました。

住宅購入にあたって注意した自然災害を聞いたところ、「地震」が63.3
%で最多。次いで、「台風」(39.4%)、「大雨」(29.1%)、「洪水」(20.8%)
となり、2018年6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆
振東部地震、さらに台風21号、24号といった大きな自然災害を意識せざ
るをえない実態が見られました。

火災保険加入にあたって重視したことを聞いたところ、「保険料の安さ」
(38.4%)、「補償の充実度」(36.2%)、「保険会社のブランド」(25.4%)
と、定番の項目が上位を占めました。

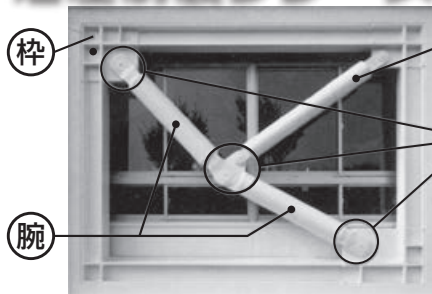
加入した火災保険をどこで知ったかを聞いたところ、「不動産会社から
の案内」(20.5%)、「インターネットで調べた」(18.7%)、「住宅ローン会
社からの案内」(16.7%)、「ハウスメーカーからの案内」(16.1%)の順と
なりました。住宅購入の過程で不動産会社や住宅ローン会社から案内さ
れることが定番とされるなか、「インターネットで調べた」が2位となり、自
発的に火災保険を調べる人が増加していることが分かりました。

開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ!

増幅機構付き 油圧制震ブレース

トグル制震構法



オイルダンパー

日立オートモティブシステムズ(旧トキコ)社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス(回転支承部)

強度に優れた鍛造品を
使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。
一般的に疲労度が大きい箇所や塑性が必要とされる部分に使われます。

鑄造品ではなく
鍛造品を使用!

ますます好評!

お問い合わせは
躍進までお気軽に!

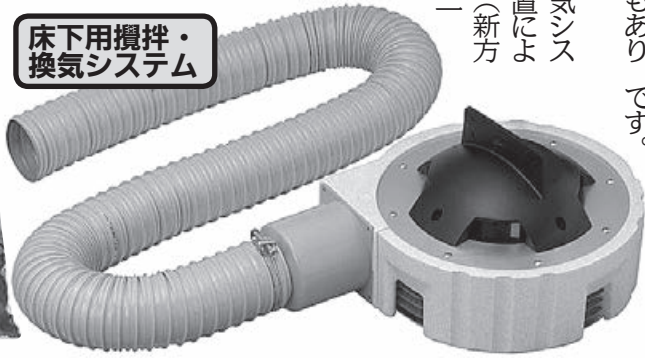
〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
☎ 048-688-3388
☎ 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

春本番! 「床下3点セット」とエレガンストーンで家の内外をリフレッシュ!



おかげさまで、「足場パック」の目玉商品となりました。

床下用攪拌・換気システム



春は床下から 総点検開始

「足場パック」は、床下点検からはじまる家の総合的な再構築です。防水や外壁・屋根の塗装など様々な提案の最初に、

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」のスプリングキャンペーンは、ご案内しております。そして、シロアリ・腐朽菌対策の目玉商品となった『飛驒炭 床下調湿材』

『カーボエース』床下用攪拌・換気システム』の床下3点セット(左上写真参照)は、まさにこの時期の定番商品です。セラミック炭から作られた脱臭調湿材「飛驒炭 床下調湿材」は、床下に一坪あたり約十二袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。換気と攪拌機能

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により一台で二坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇三台分に相当します。



その美しさが資産価値をアップさせる

自然石調の装飾仕上塗材『エレガンストーン』(左上写真)は、自然石の無機系素材がベースで、建物のエントランス部分に用いるだけでなく、戸建て住宅の外壁にも用いられています。自然の風合いを活かした意匠性をもち、壁面を多彩に演出します。

主な特長は以下の通り。
【意匠性】 豪華な自然石調の仕上がり得られます。
【耐久性】 無機系素材の使用により、耐久性に優れます。
【超低汚染仕様】 超低汚染型のクリヤートップを施工することで、春は気持ちだけでなく家の内外をチェックし、リフレッシュする時期です。それには躍進の「足場パック」が最適です。床下の健康を確保し、壁面を美しくすれば、家の資産価値もアップします。ぜひご利用ください。ご連絡をお待ちしております。



<http://yakushin.jp/exterior-painting/>

時代を締めくくる 最後の月に振り返る

平成と『地域のホームドクター』 ともに歩んだ



躍進は、平成十二年十月に設立し、事業年度では今期で二期を数えるまでになりました。これまで、平成という時代の移り変わりとともに歩んできたのです。その平成が今月で終わります。しかし、生前退位であるため、我が国全体が祝賀ムードに包まれております。

そこで、時代の流れを振り返りながら、「平成の躍進」を浮き彫りにしたいと思います。

住まいの 予防医学の実践

躍進は、コア・コンピタンスであるFRP防水工事を主体に、床下点検調査において、土台や柱の状態、耐震性に関して、建物の健康診断を実施。調査報告によるメンテナンスのアドバイスを行います。これは、地域

の家守りとしての役割を果たそうという精神の表れなのです。そのため躍進は、平成二十一年に商標登録「地域のホームドクター」を取得しています。

一般に地域のホームドクターといえば、かかりつけのお医者さんですが、躍進の『地域のホームドクター』は地元に住まう方の健康なホーム(家庭暮らし)を守るドクターなのです。

益々飛躍する『地域のホームドクター』

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス(住宅)が健全でなければなりません。肝心なのは、治療だけでなく「住まいの予防医学」を実践することで、躍進はそれに邁進してまいりました。まさに、「住まいに関する地域のお医者さん」の役割が、躍進の『地域のホームドクター』なのです。

二十世紀後期の全国の新設住宅着工戸数は、年間で二〇万戸から一七〇万戸で推移してまいりました。しかし、二十一世紀に入ると少しずつ減少し

ていきます。そして、平成二十年九月十五日におきた世界的金融危機「リーマンショック」の影響で、翌二十一年の新設住宅着工戸数は、年間八〇万戸にまで落ち込んでしまいました。しかし、これはリフォーム需要、全国の空家活用などの機運を盛り上げるきっかけになったのです。まさに、ピンチはチャンスだったのです。



このような中、躍進は『地域のホームドクター』として、リフォーム総合提案「足場パック」を展

待ください。開いてまいりました。「足場パック」は、足場掛けしてできる工事を一気にこなすことで、コストを下げながら、住まいをリフレッシュし資産価値をアップさせるものです。それは「住まいの予防医学」の視点があるからこそ可能なのです。平成も今月で終わります。その平成とともに歩んできた『地域のホームドクター』は、今後も益々飛躍してまいります。新時代も躍進の『地域のホームドクター』にご期待ください。

株式会社 躍進

本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615

東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F
 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542
 URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社 不動産事業
株式会社 ヤクシンジャパン

関連会社 株式会社
First Arrows ファーストアローズ

事業内容
防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気、等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断